

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 査 名 一般国道185号道路施設等維持修繕に伴う測量地質設計業務委託

事 業 ・ 工 事 名

調査目的及び調査対象 道路 橋梁・高架

ボーリング名	Boring No.2	調査位置	賑橋（三原市幸崎町能地）	北 緯	34° 20' 07.6743"
発注機関	広島県東部建設事務所 三原支所	調査期間	令和2年10月13日～ 令和2年10月16日	東 経	133° 02' 06.1674"
調査業者名		主任技師		現代 場	
孔口標高	TP 2.70m	角	180° 上 0° 下 0°	方 向	0°北 270°西 0°東 90°南 180°
総削孔長	15.00m	地盤勾配	0° 鉛直 90°	使用機種	東邦D2G-58
		コ ン		ア 定 者	
		エンジン	ヤンマー-NS-130	ポンプ	東洋BP1

標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色 調	相 対 密 度	相 対 稠 度	記 事	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試料採取		室内試験	削 孔 月 日
											深 度 (m)	100mm毎の打撃回数	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深 度 (m)	試 料 採 取 方 法			
1	1.60	1.10	粘土混じり砂	粘土混じり砂	暗褐				埋土、レンガ片を混入する 径3~7cmの礫を30~40%混入する 砂は中~粗砂を主体とする	10/19 10/13 2.25	1.45	0	1	1	1.45	2-1	○		
2	0.00	2.70	粘土質砂	粘土質砂	暗褐	rd1			埋土 GL-1.20mまで埋設物の確認のため試験 細~中砂の砂を主体とする 径1~3cm以下の礫を混入する 部分的に粗砂が主体となる		2.15	1	1	2	2.15	2-2	○		
3	-1.10	3.80	礫混じり砂	礫混じり砂	灰褐	rd3			径2~4cmの礫を30~40%混入する 砂は中~粗砂を主体とする GL-3.50m付近、礫を多く混入し砂礫状を呈する		2.45	4	4	8	3.15	2-3	○		
4	-2.30	5.00	シルト混じり砂	シルト混じり砂	暗青灰	rd2			貝殻片、有機物混じり 径2~4cmの礫を20~40%混入する 砂は中~粗砂を主体とする		3.45	2	2	1	4.15	2-4	○		
5	-4.10	6.80	シルト混じり砂	シルト混じり砂	灰	rd2			貝殻片混じり 中~粗砂の砂を主体とする 径3cm以下の礫を混入する 部分的に粗砂が主体となる		4.45	2	2	2	5.15	2-5	○		
6	-6.30	9.00	砂	砂	灰褐	rd3			中~粗砂の砂を主体とする 径1cm程度の礫を少量混入する 部分的に均粒な中砂が主体となる		5.45	3	1	2	6.15	2-6	○		
7	-6.80	9.50	粘土質砂	粘土質砂	赤褐	rd2			GL-7.0mで孔内水平載荷試験を実施した		6.45	4	4	5	7.65	2-7	○		
8	-9.40	12.10	礫混じり粘土質砂	礫混じり粘土質砂	赤褐	rd3			砂は細~中砂を主体とする 径1cm以下の礫を少量混入する		7.95	4	4	4	8.45	2-8	○	10/14	
9	-12.30	15.00	花崗岩	花崗岩	褐灰				径2~4cmの礫を20~30%混入する 細粒土分を20~40%含有する 砂は細~中砂を主体とする 部分的に細粒土分を多く含有し砂質粘土状を呈する		9.45	2	3	3	9.45	2-9	○		
10									DM級岩盤 風化が進行し攪乱すると土砂化する 造岩鉱物は風化変質・変色している 下部は径2cm以下の礫状となるが指圧で砕ける		10.15	6	7	7	10.15	2-10	○		
11											10.45	6	4	4	11.45	2-11	○		
12											11.15	15	22	13	12.15	2-12	○	10/15	
13											12.35	27	23	50	12.35	2-13	○		
14											13.34	90	90	190	13.34	2-14	○		
15											14.15	35	15	50	14.15	2-15	○		
16											14.29	40	40	140	14.29			10/16	
17											15.05	50	50	70	15.05				
18											15.12	70	70	70	15.12				